



横尾小学校便

みがけ心 きたえ体（のばせ力）

横尾っ子だより



令和6年度 第12号 R6.6.21（金）

わくわく夢がある学校づくり

ニウェルビーイングの風を横尾小からニ

文責 校長 河野 正勝

菌ちゃんいっばいの土づくり

6/5（水）西部自治会元気野菜づくりサポーターの皆さんが、元気野菜の最大の特徴である土づくりについて、5年生に詳しく話をしてくださいました。

元気野菜の土づくりは、残菜をぼかしや廃油と混ぜて土に入れ、微生物がいっばいにします。そうすることで、土が豊かになり、大きな元気野菜が育ちます。そして、収穫した野菜をいただき、そこから出た残菜が次の土づくりの材料になる。このサイクルも学びました。

自校給食の際は、給食室から出た残菜を土に混ぜていたのですが、令和4年1月からセンター給食となり、その残菜がなくなりました。現在は、元気野菜づくりサポーターの方が、自宅の残菜を提供してくださっています。また、手熊に住んでいらっしゃる方からは、毎年、牛糞を提供していただき、サポーターの方が土を肥やしてくださっています。何よりこれまで長年豊かにしていただけてきた土が、本校にはあります。このような土づくりがあり、元気野菜が大きく育ちます。

元気野菜づくりサポーターの皆様の日頃からのご指導、ご支援に感謝いたします。



4年生の「田植え」は、長崎新聞6月18日付け10面に掲載されました。

昔の道具を使った田植え

6/14（金）横尾だんじり保存会の方々と地主さん（高尾様）のご協力、ご指導の下、4年生が田植え体験を行いました。例年外国語大学の裏道沿いにある時津町元村郷の田んぼを、その地主さんのご厚意で使用させていただいています。

田植え竿（田植え定規）という昔の道具を用いて田植えを行うのが、横尾小の田植えの特徴です。横尾だんじり保存会の方や地主さんのご尽力で、きれいな水が張られた田んぼを準備していただきました。

はじめの会であいさつをしたり、説明をしていたりした後、早速、田んぼに入り、田んぼの感触を味わいました。足を土に取られながら、そのずぶずぶと入っていく感触を楽しみました。そして、田植え竿を使った田植えに移りました。田植え竿についている印のところに1本1本、丁寧に植えていきました。途中で、足を取られて転んだり、しりもちをついたりする子供もいましたが、それもいい体験です。約1時間半、十分に田植え体験を満喫することができた子供たちでした。終わりの会では、当日のことはもちろん、当日に至るまでのお礼もしっかり伝えました。

4年生は2学期からは横尾だんじりを指導していただきます。子供たちに昔ながらの稲作体験をさせたいという保存会の方々の思いから始めていただいたこの体験活動も、8年目となります。この日もご多用な中に、ご指導、ご支援いただき、ありがとうございました。



横尾小 HP
QRコード

→ → →

ホームページもご覧ください。

